令和８年１１月定例会一般質問発言通告表

発言順序	１１	議席番号	１４	氏名	芦　澤　秀　典　　議員	１／１

発言項目	要旨	答弁者
１　蓄電池設置事業の安全確保と設置基準について	近年、再生可能エネルギーの普及に伴い、蓄電池設置事業が進められている。一方で火災などの事故や周辺環境への影響、地域住民の安全確保が課題となっている。そこで、富士宮市における蓄電池設置事業の現状と安全対策及び設置基準の整備について、市当局の考えを伺う。 (1)　設置事業の現状と今後の見通しについて。 ①　市内における蓄電池設置事業の現状と今後の設置見込みは、どうなっているのか。 (2)　安全対策について。 ①　火災や事故を防止するため、市は事業者にどのような安全対策を求めているのか。 (3)　地域住民への説明について。 ①　設置に当たり、地域住民への事前説明や理解を得るための取組は、どうなっているのか。 (4)　設置場所や周辺環境への配慮について。 ①　住宅地周辺への設置や排水、騒音、土砂災害などの影響について、市はどのように確認しているのか。 (5)　設置基準やガイドラインの整備について。 ①　安全確保と地域住民の安心のため、市独自の設置基準やガイドラインを策定する考えはあるのか。 (6)　事故発生時の対応体制について。 ①　火災などの事故が発生した場合、消防との連携や周辺住民への対応体制は、どうなっているのか。	市　長 副市長 教育長 関係部長
２　地域人材を活用した「富士宮ならではの教育」について	こどもたちが郷土への理解と愛着を深め、豊かな心を育んでいくためには、学校教育だけでなく、地域の持つ知識や経験、豊富な人材を生かした学びが大切であると考える。そこで、地域人材を活用した「富士宮ならではの教育」について、市当局の考えを伺う。 (1)　地域人材の活用状況について。 ①　市内の小中学校では、地域の人材をどのような教育活動に活用しているのか。 (2)　富士宮市の地域資源を生かした教育について。 ①　観光、歴史、文化、農業、酪農など富士宮市ならではの地域資源を生かした教育をどのように推進しているのか。 (3)　地域と学校をつなぐ仕組みづくりについて。 ①　地域と学校が連携し、地域全体でこどもたちを育てる教育環境をどのように構築しているのか。 (4)　今後の取組について。 ①　地域人材を活用した教育を富士宮市独自の特色ある教育として、今後どのように発展させていくのか。	市　長 副市長 教育長 関係部長